

緊急報告！6・20ついに発足 環境ホルモン全国市民団体テーブル

「環境ホルモン」の話題が毎日のようにマスコミで報道されています。膨大な情報の波が押し寄せる中で全国の環境ホルモン問題に携わる市民団体が一堂に会して意見や情報を交換しながら活動できるように「環境ホルモン全国市民団体テーブル（以下、市民テーブル）」を設立しました。



■ たどり着いた先が環境ホルモン！

市民テーブルの発足を呼びかけたグリーンコープ事業連合の行岡良治専務理事は、「今まで全国各地で活動が展開されてきたさまざまな環境問題は、すべてこの環境ホルモンの結びついている」と、ヒトを含むすべての生物の存亡に関わる問題として、市民団体が一致して取り組もうと呼びかけを始めました。

呼びかけに応じた日本子孫基金、日本消費者連盟、生活クラブ生協千葉、東京マイコープ、大地を守る会、日本リサイクル運動市民の会などの消費者・物流団体が運営団体として登録。活動の中核ともなる事務局をここ、日本子孫基金内に設けることになりました。

市民テーブル事務局では、「環境ホルモン」の実情を正確に知る調査をして、情報を整理しながら、身の回りの危険な化学物質の製造・販売・使用を削減させる運動を行っています。

テーブルと銘打っているとおり、この事務局を会員団体間の「センター」としてネットワークの場にしていきたいと考えています。また、月に1度、会員同士の結集を高

めるための定期講演と情報交流集会も開催していきます。

■ 6月20日に設立記念国際シンポジウム

まずは、6月20日に設立記念国際シンポジウムを行います。

市民団体による初めての国際シンポジウムとなりますが、はからずも、この1週間後には産官学共同の国際シンポジウムが控えています。対照的な内容は、たくさんの人々から注目を浴びることでしょう。設立と国際シンポの案内は6月5日の記者会見を通じて発表されます。

記念講演は、シーア・コルボーン女史と共同研究を行っているWWF(世界野生動物基金)のマイケル・スモーレン博士による「脳神経と環境ホルモン」の予定。シンポジウムには、アジア太平洋諸国の研究者・活動家が参加します。みなさんのご参加をお待ちしております。

齊藤訓子(市民テーブル事務局)

「市民テーブル設立記念国際シンポジウム」
日時：6月20日(土) 10:00～16:00予定
場所：品川区立総合区民会館「きゅりあん」
8F大ホール
参加費：一般 600円

「環境ホルモン」の時代的特徴

久しぶりに「子孫」に目が向いた

1973: AF2の遺伝毒性が社会問題化

1974: 発ガン性があるとされ、AF2禁止

1976: 遺伝毒性の重要性を見直す運動

1984: 「日本子孫基金」発足

70年代後半～

反原発運動も子孫への影響懸念

10年ぶりに「毒性」が復活

「毒性の時代は終わった」

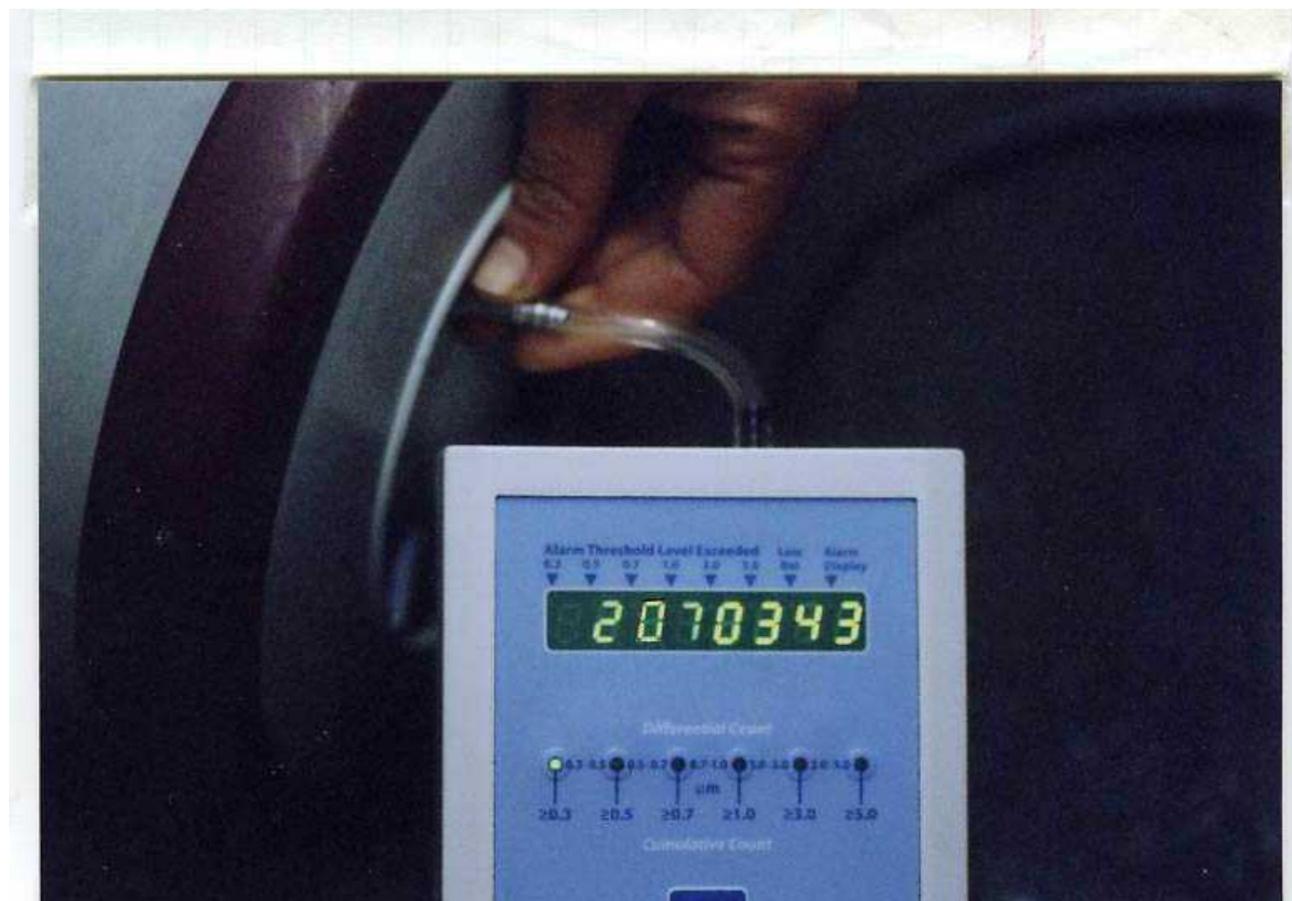
外村晶東京医科歯科大学教授が

1986年か87年に、私にこう話した。

事実、そうなっていった。

10年ぶりに「環境ホルモン作用」として
「毒性」が社会問題化した

よくわからない化学物質のリスク 掃除機の排気に取り組んで



微細なチリをたくさん出す国産掃除機

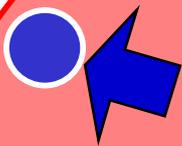
厚生労働省などは、カーペットや畳のダニを取り除く掃除機がけのポイントを示している。 1 毎日掃除する 2 1平方メートルあたり20秒以上かける 3 十文字に動かす

布団のダニも、掃除機で時間をかけて吸い取るのがコツだ。
[読売新聞] 06年6月22日 [多くの新聞記事はこんな内容](#)

掃除機の排気性能

国産とオキシジェン

フィルターの目の大きさを比較



エレクトロラックス社「オキシジェン」

80nm

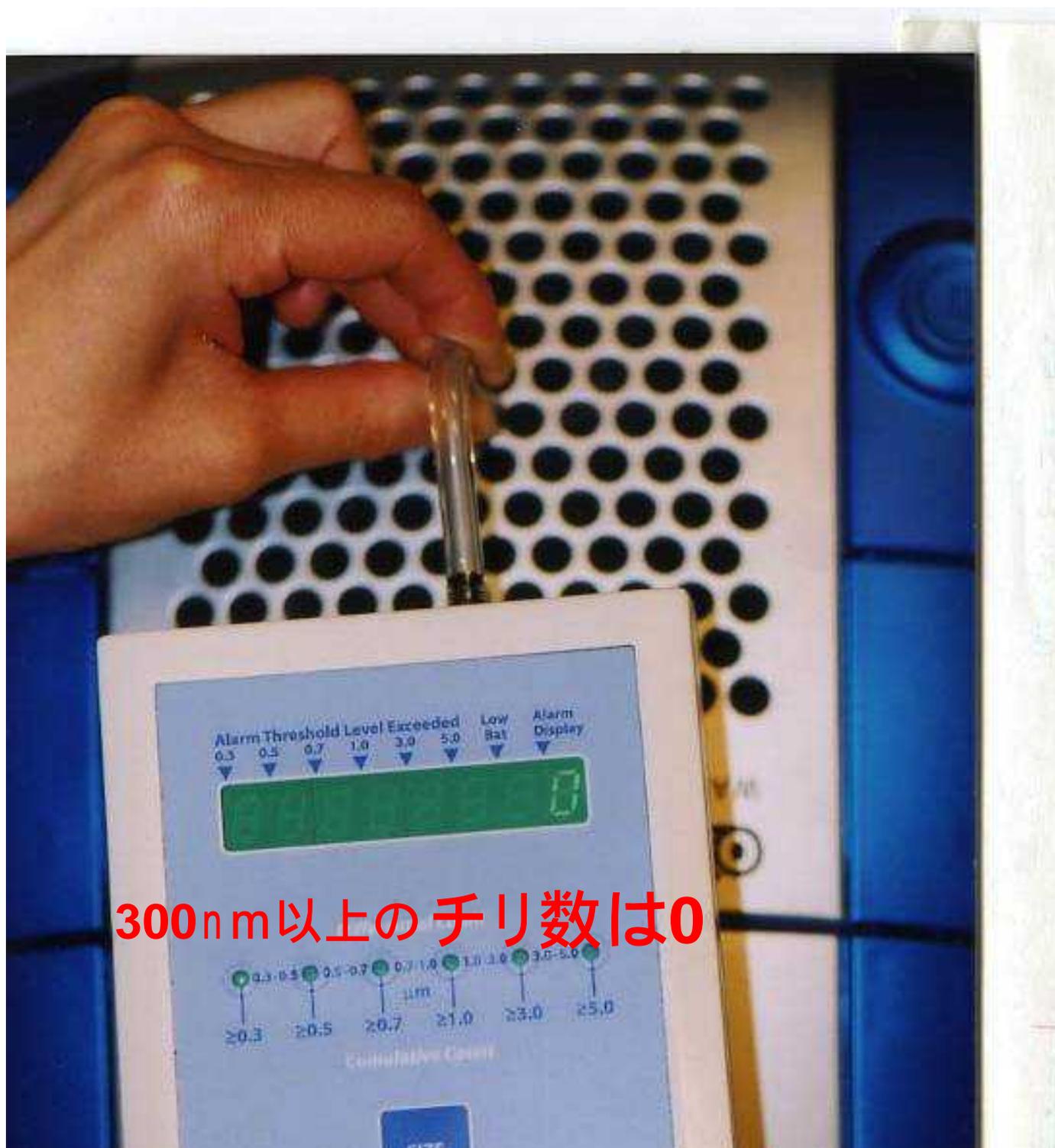


国産掃除機のチリ排気除去性能

1000nm

吸い込む空気量の多さを競うため、
国産はHEPAフィルターが付いて
いても、汚い排気を出す

80nmまで取る外国製掃除機 「オキシジェン」



300nm以上のチリ数は0